

Produced in safety. ASSURA<sup>®</sup> AR-630AT

### ワンボディータイプ GPSレーダー探知機 取扱説明書

Copyright © 2009 CELLSTAR INDUSTRIES Co.Ltd. All Rights Reserved.  
 Cellstar 及び ASSURA は、セルスター工業株式会社の登録商標です。  
 microSD™ は SD アソシエーションの登録商標です。  
 その他商標、登録商標は、各社の権利を侵害するものではありません。  
 ※本書は、最新情報に基づいて作成し、誤りや不正確な内容を含む可能性があります。

ご購入のお客様へ  
 この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。  
**本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。**  
 また、緊急車両が接近した場合には速やかに道を譲りください。

### イオス: Effective Operation System

**EOS** 心地よく、効率的なドライブをサポートを実現させるシステムを採用。GPS情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的な走行速度に合わせた警告内容を判断します。走行状況によりポイントシステムの内容が変化するため、快適な使用感をご提供いたします。

### ピーキャン

常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアによってレーダー警告音や取換機の除去などが必要ななくなったGPS警告音、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。

### BESTセレクト機能

「BESTボタン」をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード」(全ての警告動作を実行)「標準モード」(お望みできる標準的な設定)と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード」(初期設定で高速道路のみ)、「マニュアルモード2」(初期設定が「標準モード」の内容に合わせた切り替え)など、より便利で簡単にご利用いただけます。

### L.S.C.(ロードセレクト)機能

設定した速度以下の走行や停止時に、レーダー警告音を自動的にキャンセルします。

### 仕様・定格

■本体		GPSデータ	約20,000件・30種類
●GPS受信部	受信方式	取替りポイント	約3,650箇所
●レーダー受信部	変換方式	速度取締機(8種類)	
●送信部	変換方式	NHシステム、LHシステム、	
●アンテナ部	変換方式	ループコイル、新システム、	約700箇所
●受信部	変換方式	オートビス、可変式、	
●送信部	変換方式	トネル出口、トネル内、	
●動作温度範囲	動作温度範囲	オートビス制限速度	約700箇所
●サイズ	動作温度範囲	制限速度切替りポイント	約1,020箇所
●表示部	動作温度範囲	事故多発エリア	約9,740箇所
	動作温度範囲	その他	約9,940箇所

※別途販売のため、本製品の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
 ※本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 新設速度取締機、Nシステム、取替りポイントの情報提供のお願い

本製品でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道路一般道に関わらず人取り締りが頻発におこなわれるエリア、追越取締りや検問などの目撃情報をごましたら、当社カスタマーサービスまたは、e-メールなどでお知らせいただけますようお願いいたします。

カスタマーサービス ☎0120-75-6867  
 (電話番号・PHSよりおかけの方は、TEL.046-275-6867)  
 e-メール : [raman@cellstar.co.jp](mailto:raman@cellstar.co.jp) ホームページ: [www.cellstar.co.jp](http://www.cellstar.co.jp)

※携帯電話からSMS、メールでの情報提供もしております。遠慮メールをご返信される場合は、1ヵ月以内のみの返信をさせていただきます。また、cellstar.co.jp をメイン指定していない詳しい設定方法については、お近くの携帯電話会社へお問い合わせください。

### 各地域のお客様相談窓口一覧

■北海道地区	■中部・北陸地区	■中部セルスター工業株式会社
T004-0843 札幌市東区東三条1-3-1 TEL.011-852-1225(代) FAX.011-881-7251	T463-0021 愛知県名古屋守山入森4-1002 TEL.052-798-6325(代) FAX.052-798-6315	
■東北地区	■関西・中国・四国地区	■関西セルスター工業株式会社
T981-3117 宮城県仙台市泉区市民広学原田158 TEL.022-218-1100(代) FAX.022-218-1110	T562-0004 大阪府貝塚市萩原3-0-1 TEL.072-722-1880(代) FAX.072-722-5575	
■関東地区	■九州地区	■九州セルスター工業株式会社
T242-0002 神奈川県大和市つぎみ野7-17-32 TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106	T811-1347 福岡県福岡市南区野目1-11-8 TEL.092-552-6252(代) FAX.092-552-5300	
■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス	T242-0002 神奈川県大和市つぎみ野7-17-32 フリーダイヤル ☎0120-75-6867 TEL.046-273-1100(代)	

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

### 安全上の注意

お読みになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。  
 ■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	誤った取り扱いををすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
⚠ 警告	誤った取り扱いををすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いををすると「傷害や負傷または物的損害等の発生の可能性が想定される」内容です。 ※物の損害とは、盗窃・火災等家財等に関する重大損害を示します。

■お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し、説明しています。

①	この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
⊘	この表示は、してはならない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
⚠	この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

### ⚠ 危険

① 本製品はDC12V専用です。他の電圧での使用は故障の原因となりますので、絶対にやめてください。  
 ② 走行中に本製品の操作や画面の注視をしないでください。交通事故の原因となります。  
 ③ 万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。※そのまま使用すると火災等の原因となります。  
 ④ 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。ペースメーカーその他の医療電気機器に電気を影響を及ぼす恐れがあります。  
 ⑤ 煙がでている、変な臭いがあるなど異常な状態のままで使用しないでください。  
 ⑥ 水につけては、水がかけられ、又、ぬれた手で絶対に操作しないでください。  
 ⑦ 火災や感電、故障の原因となります。

### ⚠ 警告

① 運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取付けてください。取替った取り付けは交通事故の原因となります。  
 ② エアバッグの近くに取り付けたり取外ししたりしないでください。また、エアバッグの妨げにならない場所に取付けてください。取替った取り付けは交通事故の原因となります。  
 ③ 電源コードを傷つけない、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついている場合は直ちに使用を中止してください。  
 ④ 携帯電話やスマートフォンなどの電波を発する機器を近づけないでください。  
 ⑤ 本製品は精密機器です。分解や改造は絶対に行わないでください。※修理、火災、ケガの原因となります。  
 ⑥ ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差ししないでください。また、タバコを吸ったままの状態で本製品に挿入しないでください。  
 ⑦ 本製品は精密機器です。分解や改造は絶対に行わないでください。※修理、火災、ケガの原因となります。

### ⚠ 注意

⊘ 穴や隙間にピンや針金を入れないでください。※感電や故障の原因となります。  
 ⊘ 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。  
 ⊘ 夏の炎天下、真冬の駐車の際はできるだけ本製品を取り外してください。※性能の低下、本体の变形をまねく原因となります。  
 ⊘ 一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本製品が鳴り続ける場合があります。  
 ⊘ 本製品を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。  
 ⊘ microSDカードの挿入、取り外しをするときは、microSDカードスロットに顔を向けないでください。※ケガの原因となります。

### 電源の取り方

#### ⚠ 取り付け上の注意

- 取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車の機能(ハンドル、ブレーキなど)の妨げにならないよう注意し確実に実行してください。
- エアバッグの近くに取り付けたり、取外ししたりしないでください。
- 本製品の取り付け場所、コードの配線処理によっては、エアコンなどによる車内への影響、また周辺の電子機器に影響を及ぼす場合があります。
- コードを無理に曲げたり、つじたり、加工しないでください。
- シガーライター用スイッチ付DCコードをシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らないでください。

#### シガーライター用スイッチ付DCコードの接続

本体のDC12Vソケットに付属のシガーライター用スイッチ付DCコードを接続します。

エンジンをつけて本製品の電源がONにならない場合は、以下の点を確認ください。

- シガーライター用スイッチ付DCコードの電源スイッチ
- コードの接続
- シガーライター用スイッチ付DCコード内のヒューズ

一部の車種において付属のシガーライター用スイッチ付DCコードが、シガーライターソケットの形状と合わない場合があります。

ヒューズが切れた場合  
 ヒューズ(1A)を交換します。

#### 配線処理

シガーライター用スイッチ付DCコードは運転の妨げにならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。余分なコードはニールテープなどでしっかりと固定してください。コード線を表面に出さない場合は、ガラス内張りなどの隙間やバルコナーの隙間に入れます。

付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。

### 使用上の注意

● 本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも、速度の出し過ぎには注意して走行してください。緊急車両が接近した場合には速やかに道を譲りください。  
 ● 運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取付けてください。取替った取り付けは交通事故の原因となります。  
 ● エアバッグの近くに取り付けたり取外ししたりしないでください。また、エアバッグの妨げにならない場所に取付けてください。取替った取り付けは交通事故の原因となります。  
 ● 電源コードを傷つけない、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついている場合は直ちに使用を中止してください。  
 ● 携帯電話やスマートフォンなどの電波を発する機器を近づけないでください。  
 ● 本製品は精密機器です。分解や改造は絶対に行わないでください。※修理、火災、ケガの原因となります。  
 ● ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差ししないでください。また、タバコを吸ったままの状態で本製品に挿入しないでください。  
 ● 本製品は精密機器です。分解や改造は絶対に行わないでください。※修理、火災、ケガの原因となります。

### 制限速度について

● 本製品でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯による速度制限などには対応していません。また、普通自動車に対する制限速度を知らせません。  
 ● 制限速度の情報は、自動車の運転中に操作をしないでください。交通事故の原因となります。また、制限速度の情報は必ず最新のデータで更新してください。また、ドライバーが確認していただく必要があります。  
 ● 本製品は、本製品に登録、記録されたデータ、およびGPS番号、レーダー波を受信する各機器を併用して、正確に制限速度の情報を提供いたします。また、ドライバーが確認していただく必要があります。  
 ● 本製品は、本製品に登録、記録されたデータ、およびGPS番号、レーダー波を受信する各機器を併用して、正確に制限速度の情報を提供いたします。また、ドライバーが確認していただく必要があります。  
 ● 本製品は、本製品に登録、記録されたデータ、およびGPS番号、レーダー波を受信する各機器を併用して、正確に制限速度の情報を提供いたします。また、ドライバーが確認していただく必要があります。

### 同梱品の確認

はしめに、同梱物の確認をおこなってください。

- 本体
- マウントベース
- シガーライター用スイッチ付DCコード
- 本体取付用両面テープ
- ダッシュボード取付用両面テープ
- 取扱説明書(本書)
- 保証書
- ※その他注意事項が同梱している場合があります。

オプション品 必要に応じて、別途お買い求めください。

- 電圧スイッチ付DCコード(カールタイプ) RO-102
- 電圧スイッチ付DCコード(カールタイプ) RO-103
- 電圧スイッチ付DCコード(カールタイプ) RO-105

詳しくは当社ホームページをご覧ください  
<http://www.cellstar.co.jp>

### 各部の名称と機能 本体

① 前部 ② 電源スイッチ ③ ディスプレイ ④ イルミネーションランプ ⑤ microSDカードスロット ⑥ 電源ボタン ⑦ 背面

① 前部 ② 電源スイッチ ③ ディスプレイ ④ イルミネーションランプ ⑤ microSDカードスロット ⑥ 電源ボタン ⑦ 背面

### microSDカードの使用方法

本製品では市販のmicroSDカードを使用し、GPSデータを更新することができます。

#### microSDカードに保存したデータの取り扱いについて

● 本製品は、使用の煩雑、静電気、電気のノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合には、必ずデータをバックアップしてください。バックアップしたデータは必ず安全な場所に保存してください。また、バックアップしたデータは必ず安全な場所に保存してください。また、バックアップしたデータは必ず安全な場所に保存してください。

#### microSDカードの挿入

1 microSDカードの向きに注意して「カチ」と音がするまで押し込みます。

#### microSDカードの取り出し

画面に「microSDカードを抜きたい」と表示されている場合、以下の手順で行ってください。

- 1 シガーライター用DCコードの「電源スイッチ」を「ON」にする。またはリモコンの「電源ボタン」を3秒押し続ける。電圧が「ON」になると、microSDカードが挿入される。
- 2 microSDカードの「電源スイッチ」を「OFF」にする。またはリモコンの「電源ボタン」を3秒押し続ける。電圧が「OFF」になると、microSDカードが取り出される。

※ご購入後、はじめて電源を入れた日が交通安全運動期間の場合、交通安全運動期間中の案内は表示されません。シートベルトの着用案内も表示されません。また、はじめて電源を入れた期間が夜間の場合は、事故多発警告は表示されません。  
 ※リモコンによる電源のON/OFFは、電源OFF/ON時に有効です。

#### お買い求めたい始めてお使いになる場合

GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります(約15分程度)。これは、製造不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れ直してください。GPS測位が確定すると「L.S.C.」が表示され、GPS測位は完了したとお知らせします。

### 各部の名称と機能 リモコン

① ▲▶ボタン 音量を調整するときに使用します。また、各種設定変更時の設定切り替えに使用します。  
 ② ENTボタン 設定操作の決定に使用します。  
 ③ 設定メニューの選択時に使用します。  
 ④ 戻るボタン ユーザーメニュー機能やGPS警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。  
 ⑤ モーニングメニュー機能、レーダーキャンセルメニューなどの設定をするときに使用します。  
 ⑥ BESTボタン ユーザーメニュー機能やGPS警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。  
 ⑦ 電源ボタン 本体の電源をON/OFFします。また、マナーモードを切り替えるときや、反則金データベースを示すときに使用します。

### リモコンの取り付け

1 電池の+を後ろにすずして外します。  
 2 電池を下図のように「+」側を上にして、リモコンに納めます。  
 3 電池カバーをはめます。

① リモコンホルダーとリモコン取付用両面テープを貼り付けます。  
 ② リモコンホルダーを取り付け箇所に取り付けます。  
 ③ リモコンをリモコンホルダーに納めます。

### リモコンの取り外し

リモコンを右図のように持ち、本体の赤外線受光部に指してボタンを押してください。

### 各部の名称と機能 リモコン

① 電源スイッチ付DCコード ② ディスプレイ ③ microSDカードスロット ④ イルミネーションランプ ⑤ 電源ボタン

① 電源スイッチ付DCコード ② ディスプレイ ③ microSDカードスロット ④ イルミネーションランプ ⑤ 電源ボタン

### 各部の名称と機能 リモコン

① 電源スイッチ付DCコード ② ディスプレイ ③ microSDカードスロット ④ イルミネーションランプ ⑤ 電源ボタン

① 電源スイッチ付DCコード ② ディスプレイ ③ microSDカードスロット ④ イルミネーションランプ ⑤ 電源ボタン

### 本製品の取り付け方法

● マウントベースの取り付け向きに注意してください。  
 ● マウントベースに装着した本体の向きがくづつ場合  
 マウントベースの調整ネジを締めることで、しっかりと本体を固定することができます。一度マウントベースから本体を取り外し、調整ネジをドライバーなどで締めてください。

#### ダッシュボードへの取り付け(直置き)

- 1 本体取付用両面テープを本体の底面に貼付けます。
- 2 本体をダッシュボードに貼り付けます。

#### ダッシュボードへの取り付け(マウントベース)

- 1 本体の底マウントベースを装着します。
- 2 マウントベースをダッシュボードに貼り付けます。
- 3 マウントベースをダッシュボードに貼り付けます。

### ダッシュボード取り付け時の注意

● GPS信号、レーダー波が届く場所 フロントガラス  
 ● GPS信号、レーダー波が届かない場所 車の屋根、障害物

#### ダッシュボードへの取り付け(直置き)

- 1 本体取付用両面テープを本体の底面に貼付けます。
- 2 本体をダッシュボードに貼り付けます。

#### ダッシュボードへの取り付け(マウントベース)

- 1 本体の底マウントベースを装着します。
- 2 マウントベースをダッシュボードに貼り付けます。
- 3 マウントベースをダッシュボードに貼り付けます。

### 画面の見方(待受画面)

本製品が起動すると、GPS測位の確定後、待受画面を表示し、各種警告をおこなうたびに画面が切り替わります。

#### オートドライブ

① 道路自動選択の状態  
 オールのときに表示  
 ナビゲーションのときに表示  
 ナビゲーションのときに表示

#### L.S.C.の状態

② L.S.C.の状態  
 L.S.C.設定速度以上の走行時に表示  
 L.S.C.設定がOFFのときに表示  
 L.S.C.設定がOFFのときに表示

#### 音声出力の状態

③ 音声出力の状態  
 通常出力のときに表示  
 マナーモードのときに表示  
 ミュート(待機)時に表示  
 駐車禁止エリアのときに表示

#### 測位しているGPS衛星の数

④ 測位しているGPS衛星の数  
 GPSサーチ中または測位不可時はアイコンが赤色表示

#### カレンダー

⑤ カレンダー  
 12/22 日曜日 六  
 12/23 月曜日 日

#### デジタルメーター

⑥ デジタルメーター  
 走行速度 60 km/h  
 曜日/月日 日/月/日

#### エコドライブ

⑦ エコドライブ  
 ECO DRIVE  
 100 km

#### アナログメーター

⑧ アナログメーター  
 走行速度 60 km/h  
 曜日/月日 日/月/日

#### 方位

⑨ 方位  
 方位  
 曜日/月日 日/月/日

#### GPS衛星画面

⑩ GPS衛星画面  
 測位しているGPS衛星の位置  
 GPS衛星の衛星番号

#### 衛星情報

⑪ 衛星情報  
 測位しているGPS衛星の位置  
 GPS衛星の衛星番号

#### 取替機のある方向

⑫ 取替機のある方向  
 取替機の種類  
 道路幅  
 (高速道路・一般道・一般道)  
 制限速度  
 取替機のイラスト  
 イラストは取替機の種類と設置された位置(道路左/中央/右)によって異なります。  
 通過速度  
 制限速度の場合は赤色表示

### 各種GPS警告案内例

速度取締機(ループコイル、新システム、レーダー波感知システム、NHシステム、NHシステム)、信号無視監視機の警告動作  
 4ステップGPS警告(速度取締機の約2キロ手前から最大4回)でお知らせします。

#### 例: 例: 最高速、ループコイルの場合

ステップ1 (約2キロ手前) ステップ2 (約1キロ手前) ステップ3 (約500m手前) ステップ4 (約200m手前)

#### ステップ1 (約2キロ手前)

トピボン、2キロ先 首都高速 可変式 ループコイルに注意してください。  
 距離 最高速名称 可変式 速度取締機別 速度取締機別

#### ステップ2 (約1キロ手前)

トピボン、1キロ先 首都高速 可変式 ループコイルに注意(してください)  
 距離 最高速名称 可変式 速度取締機別 速度取締機別

#### ステップ3 (約500m手前)

トピボン、500m先 首都高速 可変式 ループコイルに注意してください。  
 距離 最高速名称 可変式 速度取締機別 速度取締機別

#### ステップ4 (約200m手前)

トピボン、カメラは左側です。通過速度は60キロ以下です。  
 カメラ位置警告 通過速度警告

#### 注意

● 通過速度警告は4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点で計測した速度をお知らせします。GPSで計測した速度と車のスピードメーターでは計測方法が違ふため、同時刻の計測であっても異なる場合があります。

